

えんじ園児をさまざまな視点で捉える大切さ！



落ち着きがなく、お友だちにも保育士にも手が出てしまい、大変だといわれている園児(Hくん)がいました。4月になり、私がHくんの担任になりましたがとにかく目が離せませんでした。しかし1対1でじっくり関わると、さまざまな発見も見え、少しずつ気持ちも分かるようになりました。Hくんは言葉あまり出なかったので、手が出そうになつたらしからずに抱きしめて、「○○したかったんだよね。」と代弁して共感していくように心がけました。関わりを続けていくにつれ、「しえんしえ~い」と甘えるようになってきました。まず、Hくんが何を考えているのか、どういう状態なのか、家族のことを含めて、いろいろな角度から考え、知っていくべきなんだなと思いました。すぐにしかるのではなく、園児の気持ちにきちんとよりそなうことが大切だと分かりました。

